



「高校生の税に関する作文」 「諫早税務署管内租税教育 推進協議会会長賞」受賞！！

こんにちは、生徒会です。今年度の「高校生の税に関する作文」で、1年生の**鬼石 亜弥奈さん（1年1組）**が“**諫早税務署管内租税教育推進協議会会長賞**”を受賞しましたので皆さんに紹介します。

この税に関する作文は、国税庁が“時代を担う高校生が、税を題材とした作文を書くことを通じて、税に対する関心を一層深めてもらいたい”という趣旨で、昭和37年度から毎年実施されています。

本校でも毎年1年生の地歴・公民科の夏休みの課題として作文を書いています。鬼石さんは“**税金の「使いみちのバランス」**”という題名で作文を書き、栄えある賞を受賞しました。鬼石さん、受賞おめでとうございます。

なお、12月6日（水）に諫早税務署の職員の方に来校いただき、校長室において表彰式が行われました。



【鬼石 亜弥奈さんのコメント】

受賞の一報を聞いたときはとても驚きました。作文を書くにあたり税がどのようなことに使われているかを一から調べ、私の思いを正直に書かせていただきました。調べていくうちに、税金を払うということが自分たちの生活を支えることにつながるということを知り、改めて税の大切さを認識することができました。これからも税に対する知識を深め、お金の使い方などを考えて生活していきたいと思います。